

市議会だより



「前照灯 今日を照らして」(撮影地:北沢)

CONTENTS

11月定例会 議案審議の概要	2
市政に対する一般質問	6
議会報告会の開催結果	12
中学生みらいミーティング	13
予算が決まるまで	14
2月定例会の予定ほか	16

**令和7年
11月定例会**

11月26日～12月15日
会期:20日間

■今回の議案は…

市長提出議案 22件
(報告案件3件を含む。)

議会提出議案 3件

このページでは次の項目を
Pick up!

Pick up 1
〈議第81号〉
三島市の事務所の位置を定める条例
(賛成多数 (特別多数議決))

Pick up 2
〈議第78号〉
工事施行協定の締結について(全会一致)

Pick up 3
〈議第88号〉
三島市都市公園条例の一部を改正する条例 (賛成多数)

Pick up 4
〈議第89号〉
令和7年度三島市一般会計補正予算
(第6号) (賛成多数)
■補正予算額
2億9,515万4千円

Pick up 5
〈陳情第4号〉
公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情 (不採択)

全ての議案の内容と結果については、三島市議会ホームページをご覧ください。



Pick up 1
議第81号

市役所新庁舎の位置を南二日町とする 条例が可決されました。

**議第81号 三島市の事務所
の位置を定める条例**

老朽化した市役所庁舎の建て替えに当たり、新たに建設する庁舎の位置を現在地から南二日町に変更するものです。

令和7年三島市議会6月定例会で否決となりましたが、その時の意見などを踏まえ、改めて上程されました。

質疑、討論を経て特別多数議決による採決の結果、賛成18人、反対4人で可決となりました。

〈特別多数議決〉

出席議員の3分の2以上の賛成が必要となります。

主な質疑

質疑 条例案を再提出するに至った根拠は。

答弁 6月定例会での条例案審議の中で、「住民説明」や「コスト」「まちづくり」「道路・交通」「時期」「内水氾濫」に関する質疑が多かった。このうち特に、住民説明が十分ではないかとの指摘を真摯に受け止め、市内全4地区で市民説明会を開催したほか、市役所本館、生涯学習センター、日清プラザでの街頭アンケートを実施した。また8月から、市役所本館ロビーと各公民館に、質問箱を設置した。市ホームページでも継続して質問



を受け付けており、疑問の解消に努めている。
これらの取り組みにより、市民の皆さまの理解を深めていただきながら、安価な工法の調査研究や周辺の道路整備、改修など速やかに実施すべきものについて対応を図ることとし、再提出に至った。

質疑 今後、新庁舎整備に関する要望、疑問を届ける先は。

答弁 8月から設置している新庁舎質問箱のほか、今後の新庁舎整備基本計画の策定において、子どもや若者が参加する市民ワークショップや新庁舎整備検討委員会の開催、パブリックコメントの実施などを予定している。

新庁舎整備と併せて道路や通学路などの要望については、市民生活相談センターや各担当課の窓口でも意見を伺う。

質疑 三島市DX推進計画の「窓口に行かなくてもよい市役所」に基づいた今後の来庁者数の推移予想は。

答弁 三島市DX推進計画に基づき、今年度新たに「2030年度に行政手続きの80%をオンライン

化する」との目標を掲げた。今後、転出手続きや各種証明書発行など、オンラインで完結できる手続きに伴う来庁者は減少すると予測される。

一方で、子育てや高齢者に関する相談など、直接対面で行うことで進展・解決する事案や、書類等の現物確認が必要な手続きなどがある。

現状はDX過渡期にあり、仮に計画通りにオンライン化が進んだとしても、短期的にみれば来庁者の激減とまではならないと思われるが、今後、DXの推進に努め、窓口に行かなくてもよい運用が定着した場合は、来庁者の減少につながるのではないかと考える。

質疑 旧下田街道の交通安全対策と交通渋滞対策は。

答弁 交通安全対策の一環として、歩道部分の拡幅や段差解消等の対策を進める。歩行者の安全性確保のため、車道と歩行者、自転車の通行空間を区切る車線分離標(ラバーポール)を設置するなど、歩行者、自転車の安全性を確保する整備も進める。

国道1号への進入路付近の交通

混雑の緩和策として、市道南二日町中島線から国道1号に進入する交差点(薬局付近)について、右折レーンを設けるに当たり必要となる用地の確保に向け、地権者との意見交換を行っている。また、現在進めている交通アセスメント調査では効果的なレーンの形態などを把握し、検討する。二日町踏切付近の交通円滑化については踏切遮断機の位置の見直しなどが考えられるが、今後、改善に向けて鉄道事業者との協議を進めていく。

質疑 周辺地域の内水氾濫対策

答弁 国道1号以北からの雨水流入防止については、地元自治会から道路冠水や家屋浸水に関する改善の要望があり、本年度、既存の道路側溝の排水能力の検証や桜川流域の調査を行った結果、側溝や桜川へ接続する暗渠等の流下能力の不足が判明したため、今後対策を進める。

南二日町広場の雨水は大場川に排水しているが、新庁舎整備後は雨水貯留施設を経て引き続き大場川に放流する。国道1号南側についても、今後調査を実施し有効な対策を講じる。

賛成討論

- 市民説明会などの取り組みにより懸念事項の対応策が明確化され、市民の理解が進んだ。
- 大規模地震発生の可能性や、物価高騰、建設コスト上昇などの経済環境を考慮すると、事業スケジュールを先延ばしにすることは不利であり、極力早く整備した方が良い。
- 跡地活用は中心市街地活性化のチャンス。
- 整備地周辺の交通や内水氾濫などの問題は新庁舎移転の有無にかかわらず対策しなければならない。

反対討論

- 新庁舎整備候補地の公平な比較がなされていない。市民に対する説明が不十分である。南二日町広場に移転することに納得していない市民もいる。
- 南二日町広場は、防災や交通面で不安がある。防災の専門家によるリスク検証が必要。
- 跡地活用に関して、まちづくりの全体像や具体的なプランが示されておらず、不透明である。
- これまでに市長が直接市民に対し説明する機会がなく、説明責任が果たされていない。

附帯決議※が可決されました。

三島市の事務所の位置を定める条例可決後に、議員15人から附帯決議案が提出され、賛成多数で可決されました。概要は以下のとおりです。 ※議決された議案に対して、施行についての意見や希望などを表明する決議のこと。

南二日町広場での新庁舎整備に際し、いくつかの課題が残り不安を抱く市民もあるため、下記の事項について抜本的な対策を講じ、市民への説明責任を果たすよう強く求める。

- 1 整備地周辺の交通事故防止対策、安全対策の強化
- 2 整備地周辺の交通渋滞対策
- 3 整備地周辺の内水氾濫対策
- 4 庁舎移転に伴う交通弱者対策(公共交通網の整備、行かない市役所の具現化を図る)
- 5 中心市街地の空洞化対策(まちなかのにぎわい創出に向け、跡地の有効活用、回遊性の向上を図る)
- 6 新庁舎整備の財政負担軽減対策(必要最低限の規模・機能、フレキシブルな構造・工法の採用)

11月定例会 議決結果		
<全会一致となった議案>		
議案番号	件名	結果
議第73号	令和7年度三島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第74号	令和7年度三島市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議第75号	令和7年度三島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決
議第76号	令和7年度三島市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議第77号	令和7年度三島市下水道事業会計補正予算(第2号)	可決
議第78号	工事施行協定の締結について(東海道本線函南・三島間119k 439m付近天神原こ線橋改築計画に関する工事)	可決
議第79号	公の施設の指定管理者の指定について(三島駅北口広場送迎用一般車駐車場)	可決
議第80号	施設管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定について	可決
議第82号	三島市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決
議第83号	三島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第84号	三島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第85号	三島市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第86号	三島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
議第87号	三島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	可決
議第90号	令和7年度三島市水道事業会計補正予算(第2号)	可決
発議第6号	三島市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決

<賛否が分かれた議案>

議案 番号	件名	結果	新風会					改革みしま				新未来21			公明		覚悟の会			日本共産 党員団	無会派	無会派	
			土屋利絵	野村諒子	横山雅人	永田裕二	高田康子	藤江康儀	古長谷稔	沈久美	秋山恭亮	川原章寛	岡田美喜子	宮下知朗	村田耕一	鈴木文子	堀江和雄	弓場重明	石井真人	本間雄次郎	服部正平	河野月江	佐野淳祥
議第72号	令和7年度三島市一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	×	○	○	○	○
議第81号	三島市の事務所の位置を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議第88号	三島市都市公園条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×	○	×	×	×	○	○
発議第5号	「議第81号 三島市の事務所の位置を定める条例」に対する附帯決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×	○	×	○	○	×	○
陳情第4号	公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	○	×	欠	×	×
議第89号	令和7年度三島市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	×	○	×	○	欠	○	○


※ ○:賛成 ×:反対 欠:欠席
※議長は表決に参加しないため、斜線になっています(特別多数議決(議第81号)を除く。)

Pick up 2

議第78号

老朽化したこ線橋の架け替え工事

○工事施行協定の締結(天神原こ線橋改築計画に関する工事)
架設から90年以上が経過し老朽化した天神原こ線橋を撤去し、新たに耐震性能がある橋梁に架け替える工事を行います。



主な質疑
質疑 工事の概要は。また、市民生活への影響は。
答弁 天神原こ線橋は、東海道本線建設に伴い架設されたが、老朽化が進み、早期に補修が必要である。また、耐震性能が不足しているが、現況の橋梁を利用しての耐震補強は不可能であることから、橋の架け替え工事を行う。
工事中の安全確保のため、橋梁周辺の道路を通行止め規制し、迂回路を設定する。工事期間が長期にわたるため、近隣住民の方にはご不便をおかけするが、ホームページ等で周知を図り、協定先と連携し市民への影響を少なくするよう努める。

Pick up 3

条例改正

長伏グラウンドAの使用料金の改正

○三島市都市公園条例の一部を改正する条例
大規模改修工事を実施している長伏グラウンドAについて、施設の機能が大幅に向上することから、使用料金を改正します。

主な質疑
質疑 料金改定に至った経過と市民への説明、意見の聴取は。
答弁 長伏グラウンドAの使用料金は、昭和51年の供用開始以来一度も改定が行われておらず、今回、施設改修費や維持管理費を踏まえ、年間の想定利用時間数に基づき算定した。
また、三島市スポーツ推進審議会や、スポーツ関係団体の皆さまから意見を伺うと共に、施設の利便性と機能の大幅な向上について丁寧の説明しご理解をお願いしてきた。



質疑 改修後の利用ビジョンと利用拡大のための広報手段は。
答弁 大規模改修後はスポーツ以外にも、マルシェ、ロケツアーリズム、展示会、音楽フェスティバルなどの幅広い用途での活用を促進する。野球以外の利用も可能となることを広報しましま12月号、1月号でお知らせし、今後も市と指定管理者のホームページに掲載し情報を発信する。

Pick up 4

一般会計予算を増額補正

物価高騰の影響に配慮

○デジタルプレミアム商品券事業委託料 2億円
物価の高騰により影響を受ける消費者や事業者への支援策として、国の交付金を活用し、デジタルプレミアム商品券を発行します。

主な質疑
質疑 制度の概要とスケジュールは。
答弁 以前に実施したPaypaYのポイントバック事業等の経験と課題を踏まえ、購入時に20%の

プレミアムが付与されるデジタルプレミアム商品券を発行する。
令和8年3月中に申し込みを開始し、利用期間は4月からを予定している。一口5千円、最大10口まで購入可能とする。また、三島市民限定、市内店舗限定とすることで市民の消費を市内へ集中させる制度設計としている。

Pick up 5

陳情第4号

陳情の審議

質疑 デジタルディバイドへの対応は。
答弁 デジタルに不慣れた市民も安心して利用できるよう、専用のコールセンターを設置し、問い合わせに対応する。
また、公民館や大型店舗などを会場に市民向け説明会を10回以上開催するほか、利用方法を解説する動画コンテンツも提供する。

○公共施設内での労組加入、政党機関紙の勧誘等に関する調査及び是正を求める陳情
総務委員長が総務委員会での審査の経過と結果を報告し、採決の結果、不採択となりました。

ここが聞きたい！

一般質問

市議会議員が市に対して質問を行い、適切な市政運営を進めているか、チェックや提案をするものです。

16人の議員による質問が行われ、活発な議論が展開されました。

一般質問とは…

※会派については令和7年11月定例会時点となります。



秋山 恭亮
(改革みしま)



にぎわいの定義と段階的な指標導入

Q にぎわいは段階的に深まる現象だと考える。E BPMの観点からまちなかのにぎわいを段階的に測る指標を導入してはどうか。

A まちなかににぎわいづくりビジョンの策定では、GPSデータによる歩行者数や観光施設来訪者数等の分析を基に、まちづくりを検討している。今後もデジタル技術の進展に応じ、にぎわいを数値化していくことについて、費用対効果を精査する中で検討していく。

災害時の医療体制

Q 大規模災害時、市民が受傷者を救護所に搬送することとなるため、平時にルート選定をしておくことを提案するがいかがか。

A 令和7年10月から災害時の医療体制が変更になり、これまで受傷者の搬送を予定していた医院等には行けない可能性が出てきたため、自主防災組織リーダー研修会や避難所運営会議等において、地域の方に新たな搬送ルートを考えていただく機会を設けていく。



他の質問事項

キッチンカーを活用したまちづくり政策立案



土屋 利絵
(新風会)



燃やさないごみ処理施設建設に向けて

Q 2033年の新ごみ処理施設の建設までに、一人当たりのごみ量をどのように減らしていくのか、目標数値と共に伺う。

A 一般廃棄物処理基本計画の改訂について廃棄物処理対策審議会に諮問しており、現在の一人一日当たりの目標800gより低い数値が示されるものと承知している。ごみ処理量は施設の建設費等に直結すると想定されるため、今後も各種ごみ減量施策を推進していく。

Q 新ごみ処理施設の建設に向けて、焼却以外の処理方法を検討する可能性はあるのか。

A 処理方法については、スケールメリットが大きい焼却施設を中心に調査しているが、決定したわけではない。具体的な検討は広域化参加市町の枠組み決定後に行うこととなるため、バイオガス化施設等も選択肢として考慮し、費用面や環境面、住民負担等さまざまな観点から検討する。



他の質問事項

トンネルコンポスト導入の可能性は



本間 雄次郎
(覚悟の会)



新庁舎整備事業

Q 「市役所の場所を私は動かさない」と言った市長の発言の真意は。

A 令和4年市長選挙公報では、市民に広く意見を伺いながら、さまざまな事業に取り組む市長の姿勢が示されている。新庁舎の整備地選定では、市民アンケートの結果を尊重し、幅広く検証等を重ね、総合的な判断のもと、部長会議等を経て案を示したもので、市長個人の考えではない。

Q 80年後に残そうとしている100億円のハコモノを未来の市民に負担を背負わせるとの認識はあるか。

A 長期的視点に基づく財政負担を考慮した公共施設等総合管理計画において、庁舎は現状の分散化や老朽化に伴い見込まれる多額の費用負担を打破するため、新庁舎整備は必須であり、長きにわたり使用する施設であることも考慮し、負担の平準化を図る起債を活用する。



他の質問事項
新庁舎整備にかかる資金計画の内訳



岡田 美喜子
(新未来21)



中学校部活動改革の課題と今後の展望

Q 拠点校方式による部活動地域展開の進捗状況を踏まえ、移動手段や指導者配置等の課題をどのように整理し解決していくのか。

A 部活動改革の推進に向けて、令和10年度の夏を目途に、エリア制合同部活動を目指す。今年度は、各種団体との連携強化や、自転車を用いた移動手段の検証等を行った。実証事業の結果をもとに、生徒・指導者が安心して取り組める制度設計を十分に検討する。

スマートフォン活用で市役所業務効率化の推進

Q 他市では庁用スマートフォンを導入し、連絡体制の強化や業務効率化を進め効果を上げている。本市でも導入を検討してはどうか。

A 他自治体の状況も勘案しつつ、電話交換機をもたないクラウド型システムや、働き方改革推進を伴うテレワークへの対応など、あらゆる可能性を検討し、費用対効果も考慮しつつ、新庁舎供用に合わせて、最良の方法を選択していく。



他の質問事項
地域包括支援センターの困難ケース体制強化



高田 康子
(新風会)



災害時のトイレトレーラー等の導入

Q 大規模災害時等に利用できる、トイレトレーラーやトイレトラックなどを導入する考えはあるか。

A 従来どおり災害用トイレのさらなる備蓄に取り組むことに加え、優先順位やランニングコストを考慮するとともに、費用調達手段、仕様、維持・管理方法、利活用の在り方、国の登録制度等の利用なども見極めながら、導入について前向きに検討していく。



富士市提供

Q 災害時にトレーラーを交互に貸し借りできる、助けあいジャパンの「災害派遣トイレネットワーク」の加入を検討したことはあるか。

A 一般社団法人助けあいジャパンの取り組みは承知しているが、参加の検討までは行っていない。プロジェクトに参加した場合、その効果が十分得られるかなどに加え、参加団体数の推移等を今後も注視していきたいと考えている。

他の質問事項
中学生みらいミーティングでの給食への意見



古長谷 稔
(改革みしま)



長伏公園を子育て・スポーツ・健幸の拠点に
Q 大型遊具が設置される長伏公園をグラウンドや松毛川の自然と連携させて、子育て・スポーツ・自然体験できる健幸拠点としてはどうか。

A 長伏公園は、健康づくりや交流の場に加え、松毛川を活用したウォーキングコース、狩野川のサイクルートの休憩場所としての活用など、スポーツ健幸都市の拠点になることも考えられる。幅広い世代に愛されるウェルビーイングを実感できる空間の整備を進める。



幸福度指標を政策にどう取り込んでいくか

Q 総合計画にウェルビーイング指標（幸福度指標）を導入して強みと弱みを可視化する中で、政策形成にどう反映していくのか。

A 現在策定中の第5次三島市総合計画後期基本計画において、ウェルビーイング指標を導入していく。本市の強みや市民の主観的な評価の特徴を明らかにしながら重点プロジェクトを示すとともに、指標の周知を図り幅広い市民意見の聴取と施策への反映に努めていく。



沈 久美
(改革みしま)



三嶋大祭りにおける危機管理体制および大盆踊り大会の定番化

Q 本市の一大イベントであり顔でもある三嶋大祭りについて振り返り総括する中で、新聞記事にもなったけが人発生の件について伺う。

A 頼朝公旗挙げ行列において、馬が大社境内から道路に出る際に突然急発進し、お二人の方が、接触により転倒し、軽傷を負う事故が発生してしまった。今後、安全な大祭りとなるよう、実行委員会において危機管理マニュアルを警察と協議しながら作成している。

Q 提案者の一人として今後の定番化を願うが、大祭り最終日の夜、三嶋大社境内にて実施された「第2回大盆踊り大会」の成果を伺う。

A 三嶋大祭り最終日の大盆踊り大会には、約2,500人が参加した。農兵節やみしまサンバの他に、盆踊りの定番曲をはじめ、真夏の夜を彩るにぎやかなリズムに合わせ、市民も観光客も一体となって踊り、大いに盛り上がった。



他の質問事項
 空き家の適正管理と発生予防の仕組みづくり



石井 真人
(覚悟の会)



庁舎移転後の大社町別館の活用方法
Q 新庁舎を北田町へと望んだ4割の市民のためにも、大社町別館をサテライト機能を持たせたミニ市役所として生かすことはできないか。

A 窓口としてのサテライト機能について、中郷・北上文化プラザなどそれなりに離れた施設をDX技術でつなぎサービスを提供するような研究を進めるが、大社町別館と南二日町広場の距離は900メートル程度と近接しており、サテライト施設としての整備は適当とは考えられない。



三島駅南口東街区再開発事業の子育て機能は

Q 小規模保育園の新設ではなく、朝夕に子どもを送迎する「子ども送迎ステーション」を再開発区域内に設けることはできないか。

A 具体的な内容や、事業スキーム、施設要件の確認など、実現に向けた課題が想定されるため、専門的な意見を伺うとともに、フロアを取得・運営する事業者との協議・調整も必要となる。子育て支援策の充実につながる機能の実現に向け検討を進めていく。

他の質問事項
 三島市のリスクマネジメント体制



河野 月江
(日本共産党議員団)



堆肥でも耕種農業を支える酪農家への支援を

Q 市内に7戸ある酪農家の経営は、餌代・光熱費・燃料費高騰や猛暑による乳量低下の厳しい状況にあるが、新たな支援策は可能か。

A 市では国の交付金を活用した粗飼料やおが粉の購入費補助に加え、酪農ヘルパーの利用や疾病対策など市独自の支援も継続して行っている。今後も酪農家のニーズに応じ支援制度を検証する中で、畜産関係者と連携し、持続的に発展していけるよう取り組む。



保険証廃止に伴う国保税滞納世帯への対応

Q 経済的事情で国保税を1年以上滞納している世帯に対し、10割負担のペナルティを課すべきでない「特別な事情」の基準は何か。

A 国の通知によると、災害や盗難等による財産被害、病気や怪我、事業の廃止や休止、事業における著しい損失等が挙げられており、また、保険税の納付に資する取り組みについても示されている。市では特別な事情の正確な判断と必要な取り組みを適切に行っている。

他の質問事項
 三島駅南口東街区再開発事業への補助金増額



村田 耕一
(公明)



キャッシュレスクーポンキャンペーンの実施

Q 物価高騰対策として、還元率20%を対象を三島市民限定としたキャッシュレスクーポンキャンペーンを今年度中に実施できないか。

A 本市は、地域特性と市民ニーズに合致したデジタル商品券事業の効果的かつ公平な実現を目指す。国交付金を活用し、既存のプラットフォームの導入でシステム構築コストを削減し、迅速な経済対策につなげるとともに、デジタル利用格差対策も万全を期す。



国の小学校給食費一律助成を踏まえた対応

Q 2026年4月から国が小学校給食費無償化として、全国給食費平均月額4,688円を軸に一律に助成する案が出ているが不足分対応などを伺う。

A 現時点で、国や県から小学校給食無償化の具体的な制度設計や財源負担は示されていない。令和7年度は、食材費高騰を受け、保護者負担を据え置くため、約5,500万円を市が負担している。本市の対応については、今後示される国、県の方針に基づき検討していく。

他の質問事項
 官民連携で三島市へ空飛ぶ車の運行ルートを



横山 雅人
(新風会)



市営墓地（三島墓園）

Q 三島墓園の募集方法および空き状況を含む募集状況から、空きがどのくらいになると運営に支障をきたすのか伺う。

A 現在48区画が空いており、過去3年間の年平均で約219万円歳出が歳入を上回っている。今後、歳出の執行方法を精査し、年1回の募集期間を複数回行い応募しやすくすることにより、使用者の拡大を図り持続可能な墓園の運営に努めていく。

長伏公園大型複合遊具の供用に向けて

Q 大型複合遊具なので事故やけがが心配されるが、事故やけがへの対応と保険適用はどうなるのか。

A 利用の多い時間帯のスタッフの追加、傷病が重い場合の救急対応、AEDの設置、緊急通報ボタンの必要性等を検討している。遊具の瑕疵等起因する事故には市が加入する保険等で補償することになるが、安全に楽しめるよう管理体制の構築・運用の準備を進めていく。





弓場 重明
(覚悟の会)



新市庁舎建設予定地

Q 今議会で位置条例が可決された。工事着工前後でも、大場川に洪水等が発生した場合、庁舎建設場所を他の場所に変更する可能性を伺う。

A 平成2年と平成10年に護岸浸食のあった大場川は、管理者の静岡県が改修を完了して以降、大雨による護岸浸食の被害はない。南二町広場での新庁舎整備においては、想定最大規模の降雨と複数の河川決壊にも必要な対策を見込んでおり、対応は図られている。

地縁団体である単位自治会の運営支援

Q 市内の多くの自治会が運営に苦勞されていると聞く。新たに事務局を設置した場合、当局として支援していく考えはあるのか伺う。

A 事務局制度の導入を検討している自治会の実態および求められている支援内容や事務負担軽減に向けたデジタルの活用状況、そして制度導入によって期待できる効果などの情報収集を進める。また、各自治会の規模を踏まえた情報提供とソフトウェアからの支援を行う。



他の質問事項 道路交通法の各種表示



甲斐 幸博
(無会派)



地域の公共交通を取り巻く現状と課題

Q 交通空白地域や山間地域において、移動で困っている高齢者を支援するシステムづくりを行政主導で取り組んではどうか。

A 交通空白地域等的高齢者移動支援は、行政に加え、地域住民による共助の仕組みが有効と考える。公共ライドシェアのような地域主体のシステムはコミュニティ活性化にも貢献すると考えるが、導入には安全確保など課題が多く、他事例を参考に調査・研究を進める。



高齢者支援

Q 静岡市がエンディングプラン・サポート事業を始めた。高齢者が安心して最期を迎えることができる取り組みを推進してはどうか。

A 国の高齢者等終身サポート事業者ガイドラインの周知と関連制度の見直しを進める。また、優良事業者の認定制度等が検討されているため、それらの動向を踏まえて慎重かつ前向きに検討していく。

他の質問事項

小中学生不登校問題



永田 裕二
(新風会)



伝統文化「しゃぎり」への理解促進策

Q 転入者向けしゃぎりパンフレットで伝統文化を紹介し、理解促進と参加のきっかけづくりができると思うが、その可能性を伺う。

A 歴史的風致維持向上計画に基づく事業として、転入者の方にもご覧いただけるようなしゃぎりの紹介パンフレットの作成やその電子ファイルの市ホームページへの掲載を進めるなど、転入者への理解促進を図る方策について検討していく。



しゃぎりについて対応する市の体制

Q パンフレット作成には関係各課の連携協力が必要と思うが、しゃぎりについて対応する市の体制について見解を伺う。

A しゃぎりは三島市の誇りであり、一人でも多くの市民に参加していただけるよう、パンフレットを作成する場合は、自治会活動や文化芸術を通しての地域振興、文化財の保存・活用といったさまざまな観点から、関係各課が連携し対応していく。

他の質問事項 人材戦略としての兼業・副業



野村 諒子
(新風会)



市役所本庁舎跡地利用の具体的な計画案

Q 市民の関心が高い市庁舎跡地は、観光客だけでなく市民にとっても利用価値のある場となるべきと考えるが、具体的な計画はどのようなものか。

A 本庁舎跡地については三嶋大社が近接していることから、観光的な要素と市民や周辺市町の住民が利用する要素を含んだ活用により幅広い層を呼び込むことで、大社との動線となる旧下田街道に投資が生まれ、門前町にぎわうような跡地活用が望ましいと考えている。

菊まつりを市内全体に広げ観光の目玉に

Q 楽寿園菊まつりをガーデンシティみしま事業と一体化し、市内全体に菊栽培を広げて「菊のまち三島」として、観光の目玉にできないか。

A 菊と他の花苗を併せた花壇づくりを既存の花壇で試験的に実施する。また、菊まつりに合わせ、楽寿園周辺の街路空間等を秋麗会等の菊の関係団体の協力をいいただきながら菊に彩られた空間を創出するなど、どのように花の回廊を演出できるか実証を重ね取り組む。



服部 正平
(日本共産党議員団)



重点支援地方交付金の運用

Q 交付金の使途は国が推奨する水道料金、学校給食費の減免・無償化が妥当であると思うが、市は使途をどう考えているか。

A 今回追加交付される金額の一部を活用し、家計の負担軽減に直結し事業者支援にもつながるデジタルプレミアム商品券と、水道基本料金の減免に係る予算を11月定例会最終日に上程する。物価高騰の影響を受けている市民や事業者の支援を迅速に実施していく。



市単独補助金の公平・公正な運用

Q 公平を期する上で、各種団体等が補助金を活用し取り組んだ事業効果の検証は、どのような基準で審査が行われているか。

A 補助金を活用する事業が適切に実施されているかの審査に当たっては、補助金ごとに事業内容が異なるため、補助の趣旨に沿った申請された計画等が要綱等で設けられている基準に合致し、達成できているかを完了報告書およびヒアリングなどにより各課で確認している。

スマホ・タブレットでも!!

議会中継を 見てみよう

1 三島市議会ホームページ、または、下記の二次元コードから議会中継サイトにアクセスします。



2 サイトのトップページからご覧になりたい日程を選択します。

3 動画画面をクリックすると、中継映像または録画映像が再生されます。



録画映像の場合は、映像を10秒ずつ戻すことや倍速再生もできます。

生中継に限り、画面下部に字幕が配信されます。

※後日配信の録画映像には字幕は付与されません。

中学生みらいミーティング



10月25日（土）に市内中学生と三島の未来について語り合う「中学生みらいミーティング」を開催し、9人の中学生が参加してくれました。

はじめに「市議会とは？市議会のしくみとは？」について説明を受けた後、2グループに分かれ、「三島のまちづくり」と「学校生活」について意見を出し合い、その内容について発表を行いました。

まちづくりグループ

中心部にも自然（緑）をより多く！



自然を残しながらもっと都市化して若者が集まる市に！

道路や公園について、自然と共生したクリーンなまちづくりを提案しました。

学校生活グループ

部活動の場所がせまい…



食材とご飯を無駄にしないから、あまったご飯用のふりかけがほしい



給食や部活動について日頃感じていることをベースに提案しました。

いただいた意見は議員の一般質問でも取り上げられました！

貴重な意見をありがとうございました。いただいた意見は今後の議会活動で参考にさせていただきます。

令和7年度

議会報告会

を開催しました。

令和7年度議会報告会を11月8日・9日・12日の3日間、3会場で開催しました。

本年度の報告会の共通テーマは議会活動など、議会の基本的な事項を定めた条例である「議会基本条例の検証」で、現時点での議会内の評価の状況や参考資料などを市民の皆さまに説明し、ご意見を伺いました。また、各会場ごとに個別テーマを設け、グループワーク形式で意見交換、発表を行いました。

併せて、10月17日から11月14日までの間、市議会ホームページにおいても、テーマに関する説明動画を配信および意見募集を行いました。

会場またはホームページからご意見をくださった皆様、ありがとうございました。

11月8日(土) 錦田公民館

市役所にこんな機能があったらいいな ～新庁舎を市民とともに～

新庁舎の建設事例として福島県会津若松市と栃木県鹿沼市の庁舎を紹介し、市民サービス、利便性、災害対策等、新庁舎に求める機能についてご意見を伺いました。

- ・スペースの有効活用をしてほしい。
- ・災害に強くコンパクトな庁舎が◎



11月9日(日) 北上公民館

「自分ごと」として考える空き家対策 ～所有者意識の醸成と利活用～

空き家対策の先進地である滋賀県東近江市の取り組みの経緯や新たに生じている課題を紹介し、「三島市で何ができるか」についてご意見を伺いました。

- ・所有者の意思確認とエリアごとの基礎調査は必須である。
- ・相談窓口の設置やわかりやすい情報発信などを推進してほしい。



11月12日(水) 中郷公民館

どんな応援があったら嬉しい？ ～ハッピーマリッジ事業～

結婚支援事業の先進地、愛知県小牧市の事例を紹介し、三島市で今年度からスタートした「ハッピーマリッジ事業」についてアイデアやご意見を伺いました。

- ・結婚して複数の子どもを持つことのできる社会づくりを！
- ・社会で結婚、子育てを支援してほしい！



各回の詳細やいただいた意見はこちら



令和8年度予算が 決まるまで

三島市がさまざまな事業を実施するに当たっての1年間のお金の収入・支出の計画を「予算」、その執行結果を「決算」といいます。

この「予算」の可決や「決算」の認定には、議会の議決が必要となります。

「予算」は新年度が始まる前の2月定例会、「決算」は予算執行の翌年度の9月定例会で審査・議決を行います。

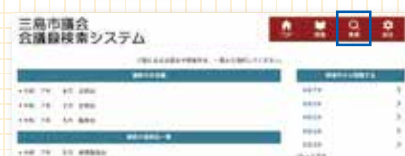
今回は、2月定例会の開会に先駆け、新年度予算が決まるまでの市と市議会の動きをご紹介します。



会議録を確認したい方は…



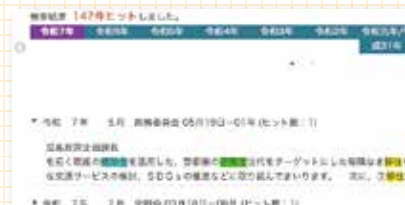
左記 QR コードもしくは「三島市議会」のページから会議録検索ページへお進みください。



最初のページの右上にある検索ボタンをクリックします。



キーワードや議員名、開催年等を指定して検索ボタンをクリックします。



検索ボタンをクリックすると、下部に検索結果が開催年ごとに表示されるので、閲覧したい発言を選択します。

③ 自由討議

委員間で予算について意見交換を行います。



② 予算案に対する質疑

説明が終わると委員から疑問点などについて質疑をします。質疑等はそれぞれの分科会で2日間かけて行います。



分科会の流れ

① 当局(市の担当課)の説明
当局から新年度の予算について分科会委員に説明します。

新年度の予算は…となります。



本会議を傍聴したい方は…

市役所駐車場南側にある「傍聴席・第2会議室入口」からお入りください。



3階まで上ると傍聴席があります。



傍聴席は32席あります。

2月定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
2/8	9	10	11	12	13 本会議 (議案審議)	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26 本会議 (代表質問)	27 本会議(代表質問) 予算決算委員会 (予算審査)	28
3/1	2 経済建設分科会 (質疑等)	3	4 福祉教育分科会 (質疑等)	5	6 総務分科会 (質疑等)	7
8	9 総務分科会 (質疑等)	10	11	12 本会議 (一般質問)	13	14
15	16 本会議(一般質問予備日) 予算決算委員会 (予算審査)	17	18 本会議 (議案審議)	19	20	21

本会議は午後1時、各分科会は午前10時からの開会予定です。予算決算委員会の開会時間は未定です。日程は変更になる場合があります。

議会の活動

10月

- 3日 議会だより編集委員会
議会報告会運営会議
- 10日 議会報告会運営会議
- 14日 総務委員会
- 20日 議会報告会運営会議
- 25日 中学生みらいミーティング

11月

- 8日 議会報告会(錦田公民館)
- 9日 議会報告会(北上公民館)
- 11日 東部地区6市4町議会
議長連絡会
- 12日 議会報告会(中郷公民館)
- 17日 議会報告会運営会議
- 19日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 26日～12月15日 11月定例会
- 26日 各派代表者会議
本会議(議案審議)
議会運営委員会
議会だより編集委員会

12月

- 5・8・9・10日 一般質問
- 8日 各派代表者会議
議会運営委員会
- 12日 議会だより編集委員会
- 15日 本会議(議案審議)
年末交通安全県民運動
初日一斉街頭広報
- 18日 議員説明会

会派の異動がありました

令和8年1月1日に会派の異動がありました。詳細はこちらの二次元コードからご確認ください。



議会だより 編集委員会

委員長：沈 久美 副委員長：本間 雄次郎 委員：高田 康子、宮下 知朗、村田 耕一、河野 月江、甲斐 幸博